



開館1周年記念イベントを開催しました

5月4日に開館1周年記念イベントを開催し、真鍋 真先生(国立科学博物館 館長、当館 名誉館長)の記念講演や体験イベント等を実施しました。当日は地域の方に出店等でご協力いただき、開館以来最多となる263名にお越しいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。

鹿島町内の町歩きを実施しました

5月の化石プログラム初級では、鹿島の町歩きを実施しました。今回は古い井戸や浜堤、庭石として見られる化石などを紹介しました。

カエルの骨の観察を行いました

5月の化石プログラム中級では、プール跡地で採集されたニホンヒキガエルの骨を観察し、部位の同定や個体数の推定を行いました。

海鳥に関する巡回パネル展示を開催中です

5月23日から7月26日まで千葉県立中央博物館分館 海の博物館で開催されていた海鳥の企画展「うみ鳥っぷ2」を当館1階で開催しています。甌島に生息するウミネコや観光的な特色についても紹介しています。5月30日には、パネルを製作した平田 和彦先生が来島し、講演会も開催しました。

新種の哺乳類化石について会見をしました

鹿島町で見つかった恐竜時代の哺乳類が新種だと判明し、「コシキバータル・カシマエンス」と命名されました。属名は「甌島の英雄」、種小名は「鹿島産の」という意味です。6月5日に記者発表を行い、翌6日から当館2階で特設展示を行っていますので、ぜひご覧下さい。

クレーターを作る実験(体験)をしました

隕石などの衝突でできた丸い地形をクレーターと言います。6月の化石プログラム初級では、鉄球などを砂に落としてクレーターを作る実験を行い、衝突体の大きさや重さとクレーターの大きさの関係などを調べました。

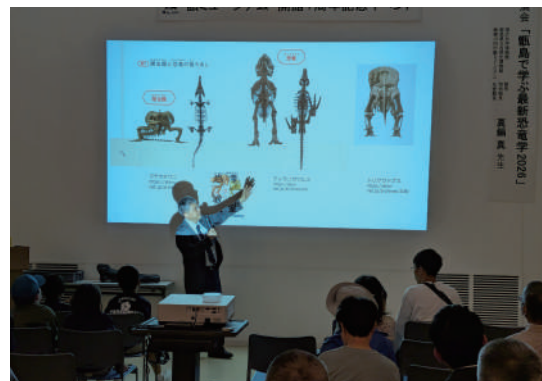


写真1 真鍋先生による記念講演会「甌島で学ぶ最新恐竜学2026」。



写真2 5月の化石プログラムでは、おっくんたい(鹿島町北部)などを見て回りました。



写真3 巡回パネル展示の前で、海鳥についての展示解説を行う平田先生。



写真4 鹿島町で発見された新属新種の哺乳類化石に関する記者発表の様子。